

令和5年11月29日	
所属	生活安全課
所属長	北 明德
電話	06-6489-6502

特殊詐欺防止訓練 A I ツールを開発 ～生成 A I による詐欺体験～

尼崎市、学校法人東洋大学（注1）、富士通株式会社（注2）が、特殊詐欺の未然防止に向けて共同研究（注3）を行っている特殊詐欺推定 A I の実用化を進めるなか、生成 A I を用いて特殊詐欺の手口を再現する模擬の訓練者（以下、「A I トレーナー」といいます。）とリアリティのある会話が可能な特殊詐欺防止訓練 A I ツールを開発しました。

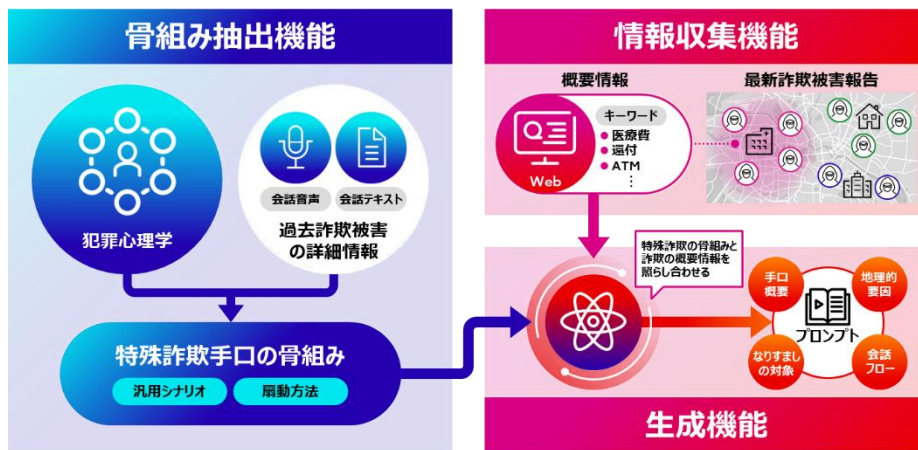
A I トレーナーは、犯罪心理学の知見をもとに特殊詐欺の手口を自動で取り込む機能と、生成 A I を融合することで、あらゆる特殊詐欺を再現できることから、今後、効果的な詐欺対策として、本訓練 A I ツールを活用した詐欺の疑似体験を提供し、防犯意識の向上を目指します。

そこで、令和5年11月30日から2日間、本訓練 A I ツールの有効性を検証するため、市内在住の高齢者を対象とした詐欺疑似体験会を実施します。

1 訓練 A I ツールの開発

一般的に、生成 A I に特定の振る舞いをさせるには、背景情報や具体的な要求等のプロンプト（注4）を与える必要がありますが、A I トレーナーとして多岐にわたる特殊詐欺の手口を模倣させるため、手口ごとの詳細なプロンプトを作成するにあたり、少量の事例から断片的な情報しか得られない新たな手口に対応するプロンプトの作成は困難でした。

しかし、蓄積された過去の特殊詐欺被害の詳細情報をもとに明らかにした特殊詐欺手口の骨組みに照らし合わせ情報を補足することで、断片的な情報からでも適切にプロンプトが作成できた（図1参照）ため、生成 A I を用いた A I トレーナーと会話が可能な訓練 A I ツールとなりました。

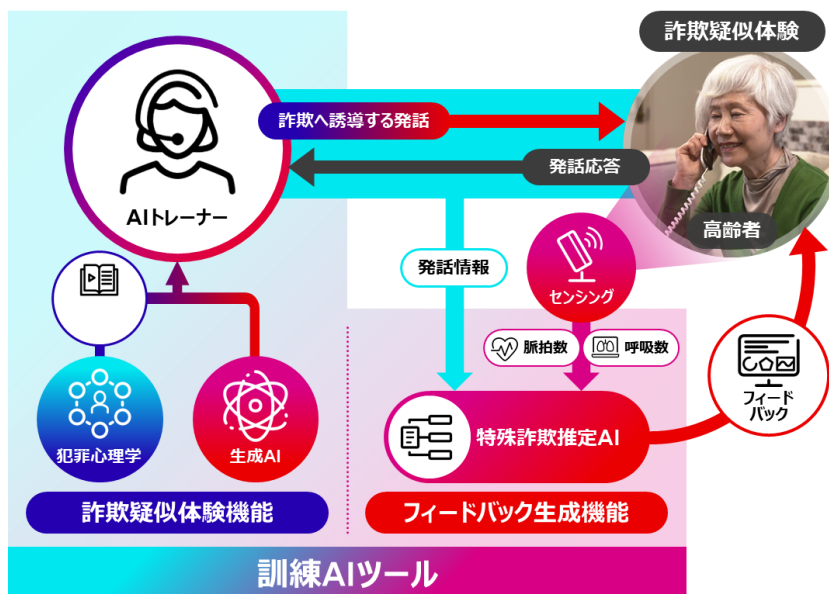


【図1】 プロンプト自動生成イメージ

2 体験会の実施

本訓練 A I ツールを使った詐欺の疑似体験を行うとともに、これまでの共同研究で開発した特殊詐欺推定 A I を用いて推定した詐欺リスクを体験者自身にフィードバックし、客観的な危険性を示すことで、防犯意識の向上につなげます（図2参照）。

なお、体験会では、本訓練A I ツールの有効性を検証するとともに、取得したデータを活用してA I トレーナーの機能や性能の向上に取り組みます。



【図2】 訓練A I ツールを用いた疑似体験会イメージ

(1) 会場

尼崎市役所 中館8階 フロア内会議室 全4室（メイン会場：8-2会議室）

(2) 日時

1日目：11月30日（木）


2日目：12月1日（金） 両日午前9時から午後5時まで

(3) 体験会の取材対応

1日目の30日（木）の午前11時から正午までの間で、体験会場にて尼崎市、東洋大学、富士通による取材対応をさせていただきます。


(注1) 学校法人東洋大学：所在地 東京都文京区 理事長 安齋 隆

本研究では、社会学部長である桐生正幸教授のもと、東洋大学が開発した心理尺度を用いた心理状態の測定や分析を行います。

	<p>桐生教授は、科学捜査研究所で犯罪心理に関する検査や分析を行っていた経歴を持ち、現在東洋大学社会学部長を担うなか、社会心理学科の教授として、統計手法を用いた犯罪心理学に関する研究を行っています。また、日本犯罪心理学会常任理事や日本カスタマーハラスメント対応協会理事を務められています。</p>
<p>東洋大学 桐生教授</p>	

(注2) 富士通株式会社：本社 東京都港区 代表取締役社長 時田 隆仁

本研究では、富士通株式会社の研究部門であるコンバージングテクノロジー研究所（神奈川県川崎市）によって、コンバージングテクノロジーに基づく特殊詐欺推定を行います。

	<p>本研究所では、富士通が長年培ってきた自然科学の知見をベースに、人と社会にフォーカスして異分野融合を進めており、デジタル技術と人文社会科学の融合により、人と社会を深く理解して働きかけ社会課題を解決するコンバージングテクノロジー（融合技術）の実現を目指しています</p>
<p>富士通（株） コンバージングテクノロジー研究所</p>	

(注3) 共同研究：令和4年3月に行った広報資料「日本初！A I × 犯罪心理学で特殊詐欺対策～学校法人東洋大学、富士通株式会社との共同研究開始～」

(https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/029/166/220324-03.pdf)

中間報告：令和4年9月に行った広報資料「特殊詐欺対策共同研究成果を試作品でデモンストレーション！～心理状態を11の要素により数値で把握し、A I モデルの構築へ～」

(https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/031/908/220916-04.pdf)

第二期共同研究開始：令和5年4月に行った広報資料「特殊詐欺推定A I モデル実現、未来の防犯対策まであと一歩！？～第二期共同研究開始～」

(https://www.city.amagasaki.hyogo.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/033/893/230417-01.pdf)

(注4) プロンプトとは：生成A I の振る舞いを規定する背景情報や具体的な要求、制約などの指示をいいます。

以 上